

子宮頸癌予防HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンについて

1) 接種可能なワクチンが2種類あります。

2) 副反応について

3) 副反応が出た場合の対応方法について

1) 4価ワクチンと9価ワクチンの違い 別表参照

(ア) キャッチアップ接種（ガーダシル）する場合は過去に接種歴がないかの確認が必要です。新潟市保健所保健管理課 感染症対策室 電話025-212-8123

(イ) 過去にHPVワクチン接種した事を失念し、4回目を接種した場合は自費となり、局所の痛み反応が増幅すると言われています。

2) 費用対効果について

(ア) 子宮部分切除費用 270275円

(イ) 拡大子宮手術 1506177円（初年度）、228679円（次年度以降）

3) 接種後の副反応について

リスク因子：年齢、脳貧血の既往、やせ、針への恐怖心、ワクチン反対派、疑心暗鬼、不信感、メディアの間違った情報 他

(ア) 迷走神経反射

① 血圧低下、徐脈、気分不快

(イ) 急性ストレス反応

① 血圧低下、頻脈、動悸

(ウ) 予防接種ストレス関連反応（ISRR）

① 脱力、麻痺、歩行障害

(エ) 解離性神経症状反応（DNSR）

① 長期に渡る生活困難

4) 副反応の対応について

(オ) 新潟大学附属病院電話相談窓口 電話025-212-8194

(カ) 18歳未満の方は小児科対応

(キ) 成人の方は産婦人科対応

(ク) 上記受診の場合は紹介状が必要。

(ケ) 急性ISRR(immunization stress related response)は新潟大学で対応

(コ) 慢性DNSR (dissociative neurological symptom reactions) は東京（横浜市立大、順天堂大学、大阪医科薬科大学）で対応